

新三木市史編さん事業の概要

三木市教育委員会

教育企画部

文化スポーツ振興課

1 新三木市史編さん事業の背景

①『三木市史』・『吉川町誌』から半世紀

半世紀の間に、

- ・ 研究の進展や新史料の発見・発掘があった。
- ・ 三木市と吉川町が合併し、市域自体に変化があった。

②歴史資料の散逸等の危機

- ・ かつての風習やしきたり、慣習が薄れてきた。
- ・ 阪神・淡路大震災を経験し、災害によって資料が消滅することを体験した。
- ・ 歴史を語り継ぐ人の高齢化により、早い時期に資料等の収集をする必要がある。

③郷土愛を育て、郷土に誇りを

- ・ 市のアイデンティティを示すことが、地方創生の原動力になる。
- ・ 郷土の歴史を知り、郷土への愛着を育む。
- ・ 身近な歴史資料や文化財が人と人を結び付け、地域コミュニティの醸成に繋がる。

2 新三木市史の構成・視点

通史編(資料編を含む。)

「三木市史」・「吉川町誌」の研究成果を活かしつつ、学術的水準の高い市史を編さんする。

＜神戸大学との連携＞

地域編(市内10公民館単位)

地域に残る歴史、文化、伝統をその地域に暮らす人々と一緒に発掘し、郷土愛を育む。

＜住民参加型＞

- ・ 三木に息づく豊かな歴史、文化、伝統を未来へ伝える。
- ・ 地域に生きた人々の視点で編さんする。
- ・ まちづくりの一環として編さんする。

3 新三木市史編さんとまちづくり

市民主体の豊かな歴史文化活動

- ・ガイド・ボランティアみき
- ・旧小河家別邸の保存と活用をする会
- ・旧玉置家文書保存会
- ・三木古文書塾(三木古文書研究会)
- ・三木城下町まちづくり協議会
- ・美術館ボランティア(堀光美術館)
- ・大分県竹田市との市民交流
- ・よかわ歴史サークル
- ・志染歴史倶楽部 など

活発な三木の歴史
文化の取組

人口減少で危機
的状況でもある。

歴史、文化、伝統を核とした人々の
結び付きを強化するとともに、まちへ
の誇りを醸成する

歴史、文化、伝統を活かしたまちづ
くりの担い手を育成する。

4 新三木市史編さんの組織

新三木市史編さん委員会
(委員:神戸大学・文化財保護委員・公募委員・三木市等)
各2名 計8名以内

通史編専門委員会
(委員:神戸大学・学識経験者・公募委員等)
古代・中世・近世・近代・現代・考古・自然地理
・文化財の計8部会の部会長で構成

地域編専門委員会
(委員:学識経験者・公募委員等)
三木・三木南・別所・志染・細川・口吉川・緑が
丘・自由が丘・青山・吉川の計10部会の部会
長で構成

時代・分野別部会
(委員:神戸大学・学識経験者・公募委員等)
古代・中世・近世・近代・現代・考古・自然地理
・文化財の計8部会。部会長1人、部会員2人、
調査員数名で構成。

地域部会
(委員:学識経験者・公募委員等)
三木・三木南・別所・志染・細川・口吉川・緑が
丘・自由が丘・青山・吉川の計10部会。部会
長1人、部会員数名で構成

- ▶平成26から平成40年度までの15か年計画で編さんする。
- ▶平成31年度から順次、刊行を目指す。